

こうじゅ 紅 寿 だより

第86号
(令和8年春号)

西村山郡河北町大字溝延字本丸8-1
介護老人保健施設紅寿の里内
紅寿だより広報委員会発行
電話0237-73-5850
FAX0237-73-5860

令和7年度 老人保健施設 山形県大会に参加して

「近未来の老健を考える」

～DX・協働・そして、ぬくもり～



この度、山形県老健大会に参加し、多くの学びと気づきを得ることができました。県内の施設によるさまざまな実践に触れる中で、当施設からも「不安からのスタート～看取りケア充実への道～」をテーマに演題発表を行い、日々の取り組みを発信する機会となりました。

当施設ではこれまで、看取りケアに対する職員の不安や戸惑いがありました。目の前の利用者にとのように関わることが最善なのか、迷いながら向き合う場面も少なくありませんでした。そうした中で、多職種で話し合いを重ね、学びを共有しながら、ガイドラインの整備や「看取り期のステージ化」に取り組んできました。少しずつではありますが、職員の不安は和らぎ、利用者一人ひとりに寄り添うケアへとつながってきています。

また今回、様々な演題発表や講演の中でも特に印象に残ったのは、東憲太郎先生の「本人や家族が望まない過度な医療を防ぐためには、どこまでの医療を求めるのかを事前に明確にしておくことが重要である」という言葉です。この言葉は、日々の関わりの中で大切にしてきた思いと重なり、改めて胸に深く残りました。

老健施設で看護に携わる中で、利用者の体調変化や終末期に向き合う場面は少なくありません。そのような状況において、本人や家族の意思があらかじめ共有されていることは、利用者の尊厳を守るだけでなく、医療・介護職が迷いなく適切な対応を行うためにも大切であると感じました。

今回の大会を通して、利用者一人ひとりの思いや価値観を尊重し、その人らしい生活を支える看護の重要性を改めて認識しました。今後も、利用者やご家族との丁寧な対話を大切にしながら、安心して生活できる環境づくりに努めていきたいと思ひます。



看護科 主任 半澤 早苗

法令遵守・コンプライアンスについて

2 月外部講師に社会保険労務士の菊地仁士氏をお招きし、職員を対象にコンプライアンスの基本についてご講義をいただきました。

講義では、コンプライアンスとは単に法律や規則を守ることだけではなく、社会的なルールや倫理観を大切にしながら行動することの重要性についてのお話がありました。特に、雇用される側としての責任や義務について改めて学び、組織の一員として自覚をもって行動する事の大切さを再認識する機会となりました。また、介護の現場において大切となる職業倫理についても触れられ、介護職員として専門的なサービスを提供するためには、介護保険法を正しく理解して業務にあたることが重要であることを学びました。制度やルールを理解したうえでご利用者の尊厳を守りながら支援を行うこと、相手の立場に立って考え行動することの大切さについて改めて考える機会となりました。

今回の講義を通して、コンプライアンスは日々の業務の中で職員一人ひとりが高い意識を持って行動することが大切であると改めて感じました。今後も職員一同、今回の講義で学んだ内容を日々の業務に活かし、これからもご利用者様やご家族様に安心していただける施設づくりに努めてまいります。



通所リハビリまんてん
多田 美紀

令和8年度

新規採用職員 研修の様子

4月3日(金)に、令和8年度みゆき会新規採用職員(総勢34名)の皆さんが、紅寿の里の施設見学に訪れました。十数名程度の3つの班に分かれて、施設内及び紅寿の湯(足湯)等を案内しました。元の溝延小学校跡地に建つ紅寿の里は、地域に根差した施設運営を目指しています。

新規採用研修が終わり、それぞれの配属先での業務が始まると、同じ法人内でも配属先以外の施設を訪れる機会がなかなかありません。新職員の皆さんにとって、法人内の施設を知るいい機会になったのではないかと思います。フレッシュな新職員が加わり、パワーアップしたみゆき会、紅寿の里をこれからもよろしくお願い致します。



ケアサービス部 部長 向田 優子

介護の魅力等についてインタビューしてみました！

職員 インタビュー



グループホームこころ
主任

菊地 久美



介護の仕事について理由

中学生の頃、特老へ入所中の親戚のおばあちゃんに面会に行った際、職員の方が満面の笑顔でレクリエーションをしており、入居者の方々も大笑いしているのを見て「楽しそう!」とワクワクしました。そこから興味を持ち、介護の仕事に就きました。

介護士として大切にしていること

- ・笑顔と元気。笑う門にはいい介護と思うからです。
- ・チームで連携してケアをおこなうことです。
- ・身体的な介護だけでなく、入居者様の人生やご家族に寄り添うことも大切だと思います。



介護の魅力

- ・人生の先輩と接する中でたくさんのことを学べます。
- ・感謝の言葉、笑顔を直接いただけます。

プライベートの過ごし方

音楽・癒し・定番です。
家族でそれぞれのおススメの音楽を
聴きながら、アクアリウムを眺め癒されています。
その時はだいたい定番のビールを片手に持っています。



ケアサポート紅寿のご紹介

居宅介護支援事業所とは、介護保険法に基づき、要介護者が自宅で自立した生活を送れるように、ケアマネージャー（介護支援専門員）が介護サービスの計画（ケアプラン）の作成やサービス事業所との調整を行う専門機関です。

～ご利用の流れ～

- ① まずはお電話ください（ケアサポート紅寿 ☎0237-73-5870）
- ② ケアマネージャーが自宅に伺い、お身体の状態を確認し、今後の生活についての希望を伺います
- ③ ケアマネージャーがあなたの希望をもとにケアプランを作ります
- ④ あなたと事業所の合意が得られればサービスの利用開始です



リハビリをしたい

- ★ 通所リハビリ（デイケア）や通所介護（デイサービス）があります
入浴介助や自宅までの送迎もいたします

ヘルパーさんをお願いしたい

- ★ 自宅を訪問し、身の回りのお世話などの介護サービスを行います

福祉用具を利用したい

- ★ 体の状態や家具状況に合った福祉用具をレンタルできます

ショートステイを利用したい

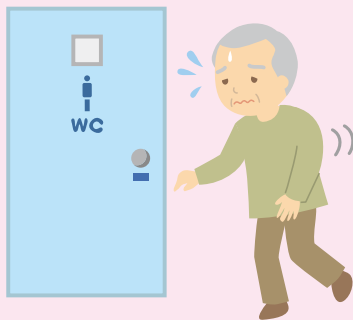
- ★ 介護負担の軽減やご家族の一時的な不在時にショートステイ（施設でのお泊りのサービス）を利用できます

リハビリ スタッフの視点 ～トイレ動作の分析～

ご家族より、よく相談を受けるのがトイレに関してです。「一人でトイレに行けなくて困っている」「失敗ばかりする」では、トイレに行くためにはどのようなことができるかというのでしょうか。今回はリハビリスタッフが「トイレ動作」をどのような視点でとらえているのかをご紹介します。

トイレでの排泄のために必要なこと

- ①尿便の感覚
- ②トイレへの移動
- ③便座への乗り降り
- ④ズボンの上げ下げ
- ⑤排泄
- ⑥後始末
- ⑦手洗い



トイレの動作を細かく分けると、左の図に記載している動作が必要になってきます。どこに原因があるのかを分析し、その方に必要な練習内容を検討していきます。

例えば②の移動が出来なければ歩行の練習や手すり設置等の環境調整を行います。④のズボンの上げ下げが出来なければ、動作の練習や方法の変更、立っているバランスの練習などを行います。

このように、一人一人の課題にあった練習内容を考えていきます。

利用者の「できない」原因を明確にすることで、「トイレ動作」に対し適切にアプローチする事が可能になります。

何か困ったことがあれば、リハビリスタッフにご相談してください。

職員紹介

※アイコンについては趣味を表しています

3の丸 主任ケアワーカー

三部 由香
さんべ ゆか



紅寿の里は初めてですが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

3の丸 ケアワーカー

大沼 雅佳
おおぬま まさよし



皆様と毎日楽しく、元気に過ごせることが出来ればとおもいます。精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

2の丸 ケアワーカー

金子 陽南
かねこ ひな



明るく元気に過ごし、これから頑張っていきます。よろしくお願いします。

通所リハビリ ケアワーカー

高橋 めぐみ
たかはし



介護未経験ですが、頑張りますので、よろしくお願いします。

リハビリテーション 作業療法士

吉田 香帆
よしだ かほ



利用者の皆様が元気に過ごせるよう支援していきたいと思えます。よろしくお願いします。



紅寿の里「ホームページ」もご覧下さい。

ホームページ URL <https://www.miyuki.or.jp/kouju/>



介護老人保健施設

紅寿の里



QRコード